

# IRRカジノの戦いくさが始まる

横浜市会議員 こんの典人

「住民投票をすれば選挙費用が2倍になる」なども考えられます。

しかし、今回の署名でも分かるようにIRRカジノに反対する人が圧倒的に多い中で、市長選挙で推進派の候補者が争点にするとは考えられませぬ。むしろ市長選挙をIRRカジノ以外の政策で争うためにもIRRカジノだけの住民投票を実施すべきです。

必要数の3倍を超える住民投票を求める署名が集まり、23日に市長に条例請求が行われました。署名していただいた皆様に心から感謝致します。

語呂は「戦だ！戦だ！」

12月4日の選挙管理委員会委員会の報告によると、提出された署名の審査結果

は、19万3193筆でした。私流に語呂合わせを考えたところ「戦だ！戦だ！」（193だ！193だ！）となり、住民投票の実現をはじめ、IRRカジノ誘致撤回の困難さを表しているようにさえ感じられました。

あるのかを深く考えるべきです。ましてやIRRカジノ誘致が市民の関心が高いテーマであるにも関わらず、これまでの市長選挙でも市議会議員選挙でも、真正面から争点にされることなく選挙が行われてきたのですから。

確かに制度的には、署名が集まっても議会の反対で住民投票を実施させないこともできます。しかし、それではなぜ地方自治の中に住民投票という制度が

議会の反対は許されない、議会の反対によって、IRRカジノ誘致の是非を決める住民投票を無くすことは許されません。

市長選はカジノ以外で

住民投票の実施に反対する理由の中には、「8月に市長選挙がある」



立憲・国民フォーラム  
こんの典人事務所

緑区鴨居3-1-14-105

☎045-929-3030

FAX 045-342-4330

✉konno@konno-norito.com

http://konno-norito.com/

市民相談を受け付けています。お気軽にご連絡下さい。